

集会案内

- 毎日曜日： 祈 禱 会 1:15pm - 1:45pm
礼 拝 2:00pm - 3:20pm
ブレイク 3:30pm - 3:50pm
聖書研究 4:00pm - 4:50pm
- 毎月1回： 家庭集会 ラグナ・ウッズ又はアーバイン
10:30am - 昼食
- 出張礼拝 JPシニア・ホームズ
10:30am - 12:00pm
- 教会住所： c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637

- ★ 私達の礼拝は第1バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ★ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。

地 図



ホームページ： www.irvinihongokyokai.org

 Irvine Nihongo Kyokai

連絡先： 榊原宣行 牧師 電話： (714)827-6244
Eメール： nobu@occc.org

杉村 宰 牧師 電話： (714)527-1456
Eメール： sugimura1950@gmail.com

◎ 石叫 ■

「認識の違い」

今回のものは、日本人としてアメリカで勇気ある言動をした、ある高校生のストーリーである。『羅府新報』(二〇一九年九月四日付け)からのものだ。

古賀野々香さんが昨年半ばから一年間ワシントン州リッチランドのハイスクールに留学した際、その学校の口ゴに原爆のキノコ雲が使われているのを目の当たりにしショックを受けた。長崎の原爆に使われたプラトニウムを製造した街リッチランド。終戦を早め多くの米兵の命を救った原爆が製造されたことを誇りとするリッチランドのハイスクールの学生達に、古賀さんの視点からのビデオを作成し公開した。古賀さんは九州福岡県の出身で、その日空が晴れていれば原爆が投下された町、小倉で生まれた。予定が変更されなければ、今の自分がこうして存在しえなかったことも語り、ビデオはインタネットでも広まった。リッチランドはもとよりアメリカ中でいろいろなメディアが取り上げ日本でも報道された。大きな称賛を与えられて然るべき古賀さんだが、同様にビデオの作成を手伝ったホームステイ先の家族、公開の機会を与えてくれた学校の先生、そしてビデオを見た後にそれまでとは違った捉え方を知り、それを提示した古賀さんへの感謝と勇気を称賛した同校の学生達の態度にも心を動かされる。古賀さんのように勇気を持って語りかけていけば、壮絶な戦争体験をされた方達のストーリーではなくても、タイプの違った語り部になり得るだろう。留学先のリッチランドで、原爆への認識の違いに目を向けさせるきっかけを作った古賀さんの行動の余波はいまリッチランドを越えて全米に広がっていく。

聖書で認識の違いといえば、主イエスの復活の出来事ではなからうか。主は生前、三度もご自分の復活を弟子たちに予告している。だが、その主ご自身の復活の出来事を、弟子たちは信じようとはしなかったばかりか、愚かなこととさえ思った(ルカ二四・11)とある。どだい人はそもそも罪という外れな生き方のゆえに信じる事ができないのである。だが、その人の信じられない世界を知ってもらいたいと願って、伝えるのが伝道なのである。古賀さんのように、私たちも信じてもらうように勇気をもって語る時に、そこに主が豊かに働いてくださり人の認識を超えた永遠のみ業が体験できるというものである。

Rev. Sukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会と、シニアホームでの出張礼拝を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。